

日本熱帯農業学会 令和6年度総会ならびに第137回講演会

期 日 2025年3月18日(火)・3月19日(水)

場 所 玉川大学 ELF Study Hall 2015

事務局 〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1 玉川大学 6号館

運営委員長 小原 廣幸

事務局長 石川 晃士

運営委員 島田 温史、上原 歩、井上 広大

参加費 一般：6,000円，学生：3,000円（要旨集代を含む）

発表者について 発表者は会員に限ります。入会されていない方は発表当日までにご入会ください。

受 付 3月18日(火) 9:30～，19日(水) 10:00～
ELF 2階

第1日 3月18日(火)	第1会場 331教室	第2会場 329教室
9:30～12:00	研究発表（講演番号1～8）	研究発表（講演番号9～16）
12:00～13:00	昼食	
13:10～14:35	総会（UCH106教室）	
15:00～16:30	公開シンポジウム 「日本からインドへの農業技術の展開と交流 ～現地実証を通じたインド進出の仕組みづくり～」	
17:30～19:30	懇親会（玉川大学 STREAM Hall 2019 6階 りんどう食堂）	

第2日 3月19日(水)	第1会場 331教室	第2会場 329教室
10:00～12:00	研究発表（講演番号17～21）	研究発表（講演番号22～29）

第 137 回講演会プログラム

第 1 日目 3 月 18 日 (火) 研究発表 (発表 12 分, 質疑応答 2 分 30 秒),

講演番号の後ろ★は学生優秀発表審査対象

開始時刻	座長	第 1 会場 331 教室	座長	第 2 会場 329 教室
9:30	松田 大志 (国際農研熱帯島嶼研究拠点)	1★. タンカン用台木カラタチ変異株のクローン増殖-組織培養による清原 1 号 (仮称) 及びヒリュウの増殖の検討- *水野璃子, 山崎旬 (玉川大学農学部環境農学科)	志水 勝好 (鹿児島大学)	9★. 異なる根系を持つ IR64 同質遺伝子系統の窒素利用 *平田和也 ¹ ・坂口仁啓 ² ・長谷川鈴花 ² ・入江満美 ^{1,2} ・入江憲治 ^{1,2} (¹ 東京農業大学大学院・ ² 東京農業大学)
9:45		2★. 東京における加温施設栽培条件下での 3 品種のパッションフルーツの樹体生育および果実品質特性の比較 *森悠斗 ¹ ・島田温史 ¹ ・浅田真一 ¹ (¹ 玉川大学農学部)		10★. ミニコアコレクションを用いた沖縄県におけるダイズ秋播種時の環境応答解明 *河西寛太 ¹ ・大田優人 ² ・植田小楠 ² ・茅野太紀 ³ ・赤嶺光 ³ ・諏訪竜一 ² (¹ 琉球大学大学院農学研究科・ ² 琉球大学農学部・ ³ 琉球大学農学部付属亜熱帯フィールド科学教育センター)
10:00		3★. フィリピンにおける <i>Lasiodiplodia theobromae</i> によるバナナの葉のシガトカ様病害の発生 *原田結衣 ¹ ・高田美輝 ² ・野澤俊介 ² ・Reynaldo Valle ³ ・渡辺京子 ^{1,2} (¹ 玉川大学大学院農学研究科・ ² 玉川大学農学部・ ³ BaCaDM)		11★. 秋植え大豆栄養成長期間短縮対策としての尿素葉面散布 *大田優人 ¹ ・河西寛太 ² ・植田小楠 ¹ ・茅野太紀 ³ ・赤嶺光 ³ ・諏訪竜一 ¹ (¹ 琉球大学農学部・ ² 琉球大学大学院農学研究科 ³ 琉球大学農学部付属亜熱帯フィールド科学教育センター)
10:15		4★. マダガスカル北西部におけるマンゴー地方品種の名称とその形態的特徴の多様性 *篠村茉莉央 ¹ ・ヴンジ ニアイナ アンジアナンテナイナ ² (¹ 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・ ² アンタナナリブ大学理学部)		12★. Assessment of antioxidant properties, total phenolic content, and flavonoid levels in different <i>Amaranthus</i> accessions. Awino Maryiano Keziah Anyango, K. Irie Graduate school of Tokyo University of Agriculture

10:30	<p>5★. ケニア共和国ルアンダ・サブカウンティにおける伝統野菜資源アマランサス (<i>Amaranthus L.</i>) の遺伝的多様性 *村田歩花¹・P. Maundu²・E. Odera³・M. Keziah¹・森元泰行⁴・入江憲治¹ (¹東京農業大学・²KENRIK National museum of Kenya・³County government of Vihiga county・⁴The Alliance of Biove nal and CIAT)</p>	<p>13★ . Breeding study on heat tolerance ability of leaf mustard (<i>Brassica juncea L.</i>) Tran Thi Ha Chau*¹, K. Wakui², Y. Saki², K. Ogami¹, K. Irie¹ ¹ Tokyo University of Agriculture, Faculty of International Agriculture and Food Studies ² Tokyo University of Agriculture, Faculty of Agriculture</p>
10:45	<p>6★. キヌアの本葉の赤色発現を制御する自然変異の解析 *久篠沙耶子*¹,^{D2}・西村和紗²・水野信之³・上野まりこ³・竹内直子³・中野龍平³・岩橋優³・小林安文⁴・藤田泰成⁴・白澤健太⁵・平川英樹⁶・安井康夫³・桂圭佑³(¹東京農工大学大学院連合農学研究科・²岡山大学大学院環境生命自然科学研究科・³京都大学大学院農学研究科・⁴国際農林水産業研究センター・⁵かずさ DNA 研究所,⁶九州大学大学院生物資源科学府)</p>	<p>14★. Analyzing Genetic Diversity in <i>Capsicum</i> spp. Using a Novel Technique: dpMIG-seq *Claudia F. ORTEGA MORALES¹, K. IRIE², K. NISHIMURA³, and M. KAWASE⁴ (¹Graduate School of International Food and Agricultural Studies, Tokyo University of Agriculture ²Faculty of International Food and Agricultural Studies, Tokyo University of Agriculture ³Faculty of Environmental, Life, Natural Science and Technology, Okayama University ⁴Faculty of Agriculture, Tokyo University of Agriculture)</p>
11:00	<p>7★. 苦鉄質岩の土壌施用がダイジョ (<i>Dioscorea alata L.</i>) の生育に及ぼす影響 *児玉純也¹・玉木陸斗²・M. Ouyabe²・鈴木伸二¹・岡澤宏¹・志和地弘信¹・関原明³・菊野日出彦² (¹東京農大・²東京農大宮古亜熱帯農場・³理化学研究所環境資源科学研究センター)</p>	<p>15★. 多良間島産ハマダイコンの可能性：利用方法と栽培化の研究 *畑あやめ¹・桑名くるみ¹・玉木陸斗²・吉田沙樹¹・菊野日出彦² (¹東京農業大学農学部・²東京農業大学国際食料情報学部)</p>
11:15	<p>8★. インドネシア・ボゴール市近郊の水田土壌における有機農業の継続年数と土壌の風化特性および有機物蓄積との関係 菊池絢都¹・浅木直美¹・小松崎将一¹・Liyantono², MF Syuaib²・*坂上伸生¹ (¹茨城大学大学院農学研究科・²ボゴール農科大学農業工学部)</p>	<p>16. ベトナム北西部、中山間地の農村開発におけるアグリツーリズムによる野菜栽培効果 *西村美彦¹・グエン ティ クエン²・レオ マニ アン³(¹名古屋大学・²タイバック大学農林学部・³ソララ省農業農村開発局)</p>

江原 宏 (名古屋大学)

松島 憲一 (信州大学)

11:30	<p>P01★. 伝統工芸作物イトバシヨウの栽培技術「葉打ち」が繊維品質へ及ぼす影響 *仁科春佳¹・上原直子¹・圓岡以紡¹・平良美恵子²・細野高啓³・平田菜乃佳³・諏訪竜一¹ (¹琉球大学農学部・²喜如嘉芭蕉布事業協同組合・³熊本大学理学部)</p> <p>P02★. トルコ、マレーシア、ネパールで収集されたトウガラシの植物遺伝資源の評価 *廣田真夕子¹・根本和洋²・松島憲一² (1.信州大学農学部, 2.信州大学学術研究院農学系)</p> <p>P03★. バングラデシュ・タンガイル県におけるドニア (Coriander) の栽培・流通・利用に関するフィールド・ノート *安藤拓実¹⁾・大西信弘¹⁾・安藤和雄^{1), 2)} ¹⁾ 京都先端科学大学大学院バイオ環境研究科、²⁾ 京都大学東南アジア地域研究研究所</p>
12:00	昼休み
13:10	<p>総会、学会賞授与式 (UCH106 教室)</p> <p>1) 学会賞奨励賞 業績題目 「タンザニア連合共和国における稲作体系の解明とそれを取り巻く社会的環境」 加藤太 (日本大学生物資源科学部)</p> <p>2) 学会賞学術賞 業績題目 「南九州における熱帯果樹類の安定生産技術に関する栽培生理学的研究」 内野浩二 (鹿児島県大隅地域振興局農林水産部)</p>
14:20	<p>公開シンポジウム 「日本からインドへの農業技術の展開と交流 ～現地実証を通じたインド進出の仕組みづくり～」</p> <p>登壇者 農林水産省 輸出・国際局新興地域 G 国際交渉官 嶋田光雄様 株式会社国際開発センター 研究員 三嶋あずさ様 メビオール株式会社 代表取締役社長 吉岡浩様 東京計器株式会社 通信制御システムカンパニーセンサ機器部主任 根上聡様</p> <p>コーディネーター 玉川大学農学部 環境農学科 石川晃士 (講演会事務局長)</p>
17:30	懇親会 (玉川大学 STREAM Hall 2019 6 階 りんどう食堂)

第2日目 3月19日(水) 研究発表(発表12分, 質疑応答2分30秒)

開始時刻	座長	第1会場 331教室	座長	第2会場 329教室
10:00	近藤友大(京都大学)	17. パッションフルーツにおける1-ナフタレン酢酸ナトリウムの萌芽抑制効果とその使用時期 *吉松孝宏 ¹ ・篠原和孝 ¹ ・内野浩二 ^{1,2} (¹ 鹿児島県農業開発総合センター・ ² 現:鹿児島県大隅地域振興局農林水産部)	石川晃士(玉川大学)	22. グローバル市場の変動とメコンデルタの稲作農家の選択 -ベトナム・アンジャン省の事例から- *山口哲由 ¹ ・Luu Minh Tuan ² (¹ 北星学園大学経済学部・ ² アンジャン省農業局防疫部)
10:15		18. 異なる点滴灌水方法を用いたサトウキビ収量および圃場水収支の比較 *渡邊健太(摂南大学農学部)		23. Processes of Producing Rice Fermentation Starters, Wine, and Liquor in Phongsaly and Luang Namtha Provinces, Laos *S. Yamamoto ¹ , A. Sasaki ² , K. Sengphaxayalath ³ and S. Yokoyama ⁴ (¹ International Center for Island Studies, Kagoshima University, ² College of Bioresource Sciences, Nihon University, ³ National Agriculture and Forestry Research Institute, Ministry of Agriculture and Forestry, Lao P.D.R., ⁴ Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University)
10:30		19. ジベレリン GA ₃ の茎葉散布がダイジョ幼植物体の生育に及ぼす影響 西澤優 ¹ ・*遠城道雄 ¹ ・金範求 ¹ ・金子拓斗 ² ・濱岡範光 ³ (¹ 鹿児島大学農学部・ ² 鹿児島大学農林水産学研究科・ ³ 九州大学熱帯農学研究センター)		24. ケニア農村地域におけるたんばく質資源の評価 *赤石裕美恵 ¹ ・森元泰行 ² ・武田晃治 ¹ ・Patrick Maundu ³ ・入江憲治 ¹ (¹ 東京農業大学大学院、 ² バイオパーシティ・インターナショナル-国際熱帯農業センター連合、 ³ ケニア国立博物館)
10:45		20. アブラヤシプランテーションにおける土地利用と持続可能な管理が温室効果ガス排出収量と土壌および養分循環に及ぼす影響 *犬伏和之 ^{1,2} , 川嶋彩那 ¹ , 後田裕 ¹ , 金子きらら ¹ , 八島未和 ² , Ngai Paing TAN ³ , 加藤 拓 ¹ , 大島宏行 ¹ , 皆川千夏 ⁴ (¹ 東京農業大学大学院応用生物科学研究科, ² 千葉大学大学院園芸学研究院, ³ プトラマレーシア大学農学部, ⁴ ㈱IHI プラント)		25. ラオスにおけるハリナシバチ生産物の伝統楽器製作への利用 園江満(日本大学生物資源科学部)

11:00		21. 沖縄県南大東村における節水・省力型サトウキビスマート灌水システムの普及可能性 *渡邊健太 (摂南大学農学部)	26. Exploring the Effects of Environmental Factors on the Performance of Industrial Crops *A. Azhar ¹ , F. Audia ² , K. Asano ^{3, 5} , L. Dahliani ¹ , B. Budiarto ⁴ , and H. Ehara ⁵ (¹ Vocational College, IPB University, ² Politeknik Negeri Subang, ³ Chitose Agri Laboratory, ⁴ Center for Climate Risk and Opportunity Management in Southeast Asia Pacific (CCROM - SEAP), IPB University, ⁵ International Center for Research and Education in Agriculture, Nagoya University)
11:15			27. インドネシアにおける農業生産と土壌の風化特性および有機農業の実践による土壌炭素動態の変化に関する調査 *菊池絢都 ¹ ・浅木直美 ¹ ・塩津文隆 ² ・Liyantono ³ ・坂上伸生 ¹ (¹ 茨城大学大学院農学研究科・ ² 明治大学農学部・ ³ ボゴール農科大学農業工学部)
11:30			28. アセロラや早生樹の植栽と被覆植物やきのこ原木設置との組合せによる傾斜地における土壌流出抑制効果の評価 *松田大志 ¹ ・竹中浩一 ² ・木村健一郎 ^{2,3} ・安西俊彦 ¹ (¹ 国際農研熱帯島嶼研究拠点・ ² 国際農研農村開発領域・ ³ 農研機構農村工学研究部門)
11:45			29. Cut-Soiler Constructed Preferential Shallow Subsurface Drainage: A Sustainable Salinity Management Technique for Yield Improvement in Saline-arid Lands *Neha ¹ , G. Yadav ² and J. Onishi ¹ (¹ Japan International Research Center for Agricultural Sciences (JIRCAS), ² Central Soil Salinity Research Institute (ICAR-CSSRI))

菊野
日出彦
(東京農業大学)